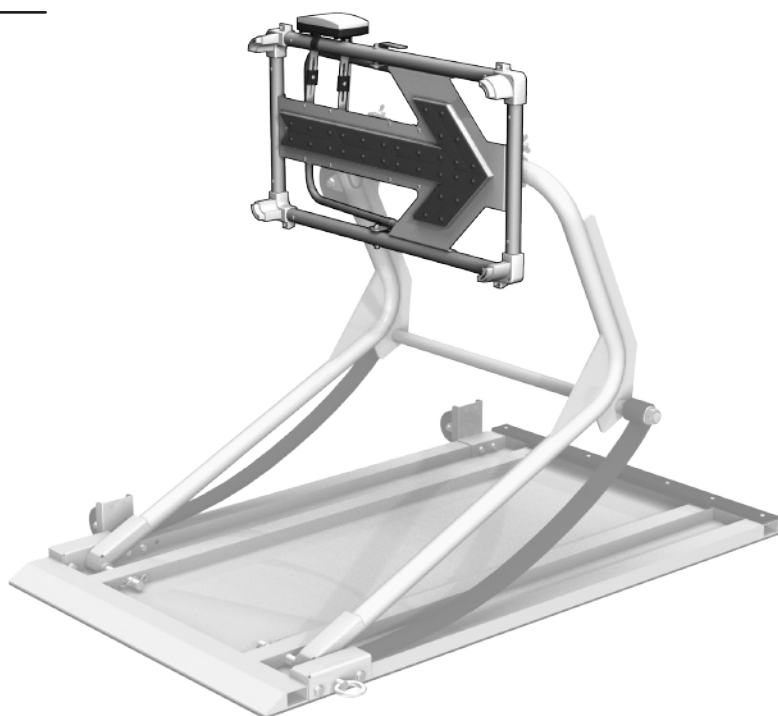
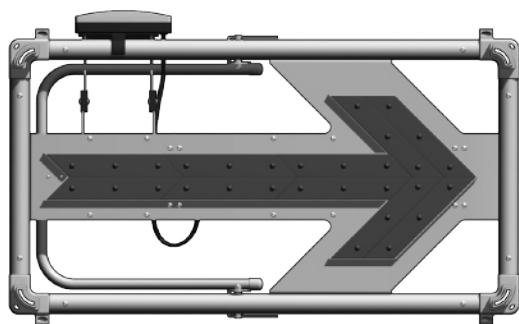


L E D 矢印看板 (車両停止装置付加品)

規制の看板 B

型式 OJK-VSU01-K-B

取扱説明書



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・この取扱説明書は、いつでも見る事ができるよう、お手元に大切に保管してください。

お使いになる前に「安全上のご注意」を必ずお読みください

目次

安全上のご注意	2
製品概要	4
使用前の準備	5
車両停止装置(規制の相棒)への取付	8
仕様	9
免責事項	9

安全上のご注意〔必ずお守りください〕

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、誤った取扱いによる人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して説明しています。



警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

「人が軽傷を負うことや、物的損害が発生する恐れのある内容」を示しています。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次に示すのは図記号の例です)



してはいけない「禁止」内容を示しています。



実行しなければならない「指示」内容を示しています。



気を付けていただく「注意」内容を示しています。



警告

下記のような状態が、見受けられたら使用しないでください。



禁止

- ・ 部品の破損、変形、腐食など、異常が生じている場合。
- ・ ボルト・ネジなど各固定部品の欠落、欠損がある場合。
- ・ 部品の劣化、摩耗、損傷がある。
- ・ 異物、水(液体)が入ったり、煙が出ている、焦げるようなにおいがする場合。

安全上のご注意〔必ずお守りください〕（続き）

警告



電源ケーブルコネクタに異物を入れないでください。発火や故障の原因となります。



本製品が万一破損、故障した場合は、直ちに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。



車両停止装置（規制の相棒）へ取付けの際は、本書に従い正しく取付けをおこなってください。

取付けが不確実な場合、重大な事故につながる可能性があります。



本製品を分解、改造しないでください。火災・故障の原因となります。



防水機能を有していますが、本製品に故意に水をかけたり、高圧洗浄機を使用しないでください。

注意



指はさみ注意

本製品には可動部分があります。誤って指や手をはさまないように注意してください。



車両停止装置（規制の相棒）へ取付けの際は、2人以上でおこなってください。

本製品を落下させて思わぬ怪我や、衝撃により破損するおそれがあります。

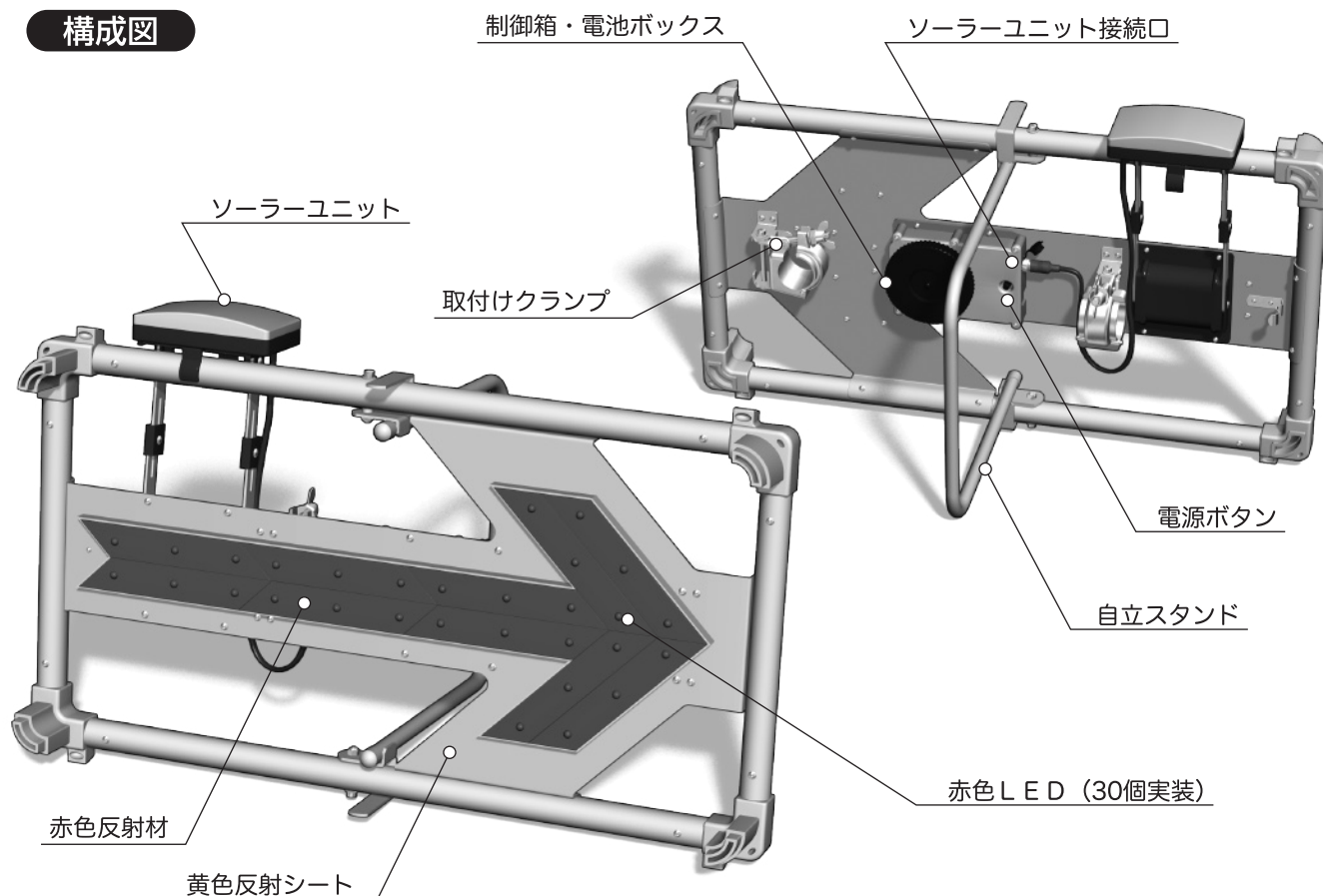
● 製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

製品概要

L E D矢印看板“規制の看板B”は、車両停止装置（規制の相棒）の付加品として、車線規制の存在をドライバーへ知らせるものです。

矢印部分は、高輝度反射材に加えてL E Dの発光により、明るい日中はもちろん、夜間においても遠方からの視認性に優れ、車線規制区間への車両の進入防止に貢献します。 また、矢印看板単体での運用も可能となっています。

構成図



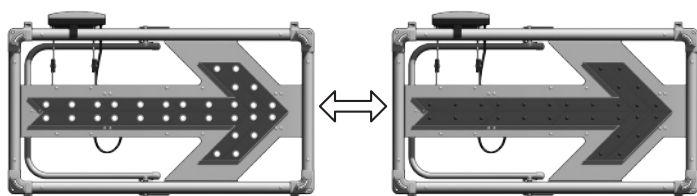
ソーラーパネルによる電源供給により、外部電源は必要ありません。

また、入手が容易な“単一乾電池”による発光が可能で、夜間や日照が期待できない場合も約90時間点灯可能です。

点灯方式

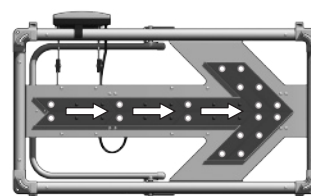
《点滅》

全L E Dが点灯、消灯を繰り返します。



《流動》

矢印の方向へ光が流れます。

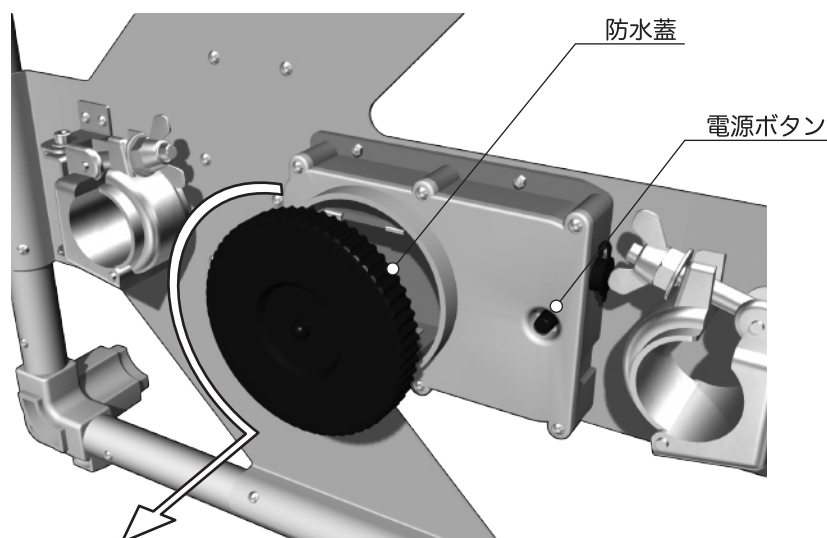


使用前の準備

1.

防水蓋を外す

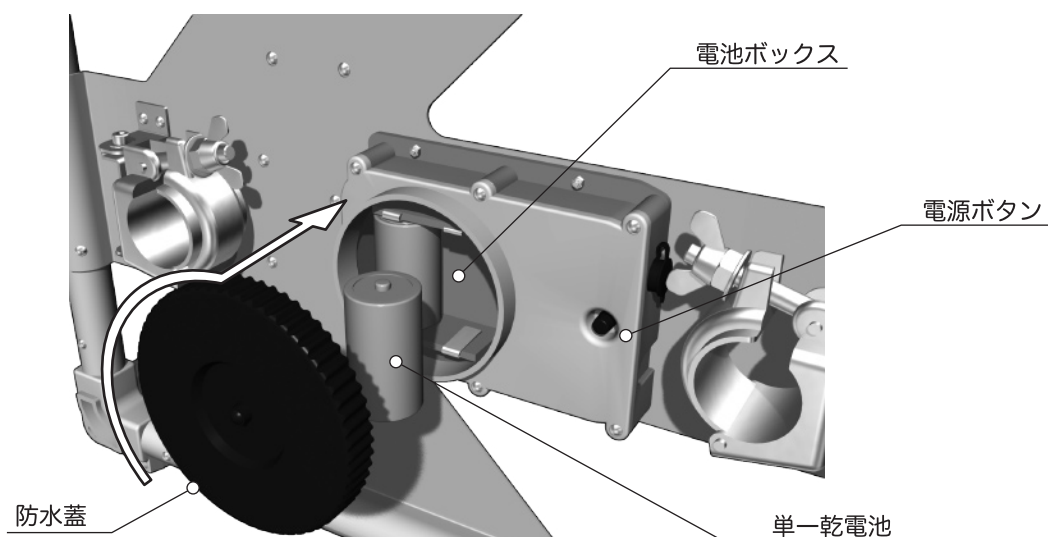
背面の防水蓋を反時計回りに回転し“防水蓋”を外します。(蓋はチェーンによって本体につながっています。)



2.

乾電池を入れる

“単一乾電池 2 本”を電池ボックス内の刻印に合わせ、プラスとマイナスを間違えないように入れます。 防水蓋を時計回りに回転し、取付けます。

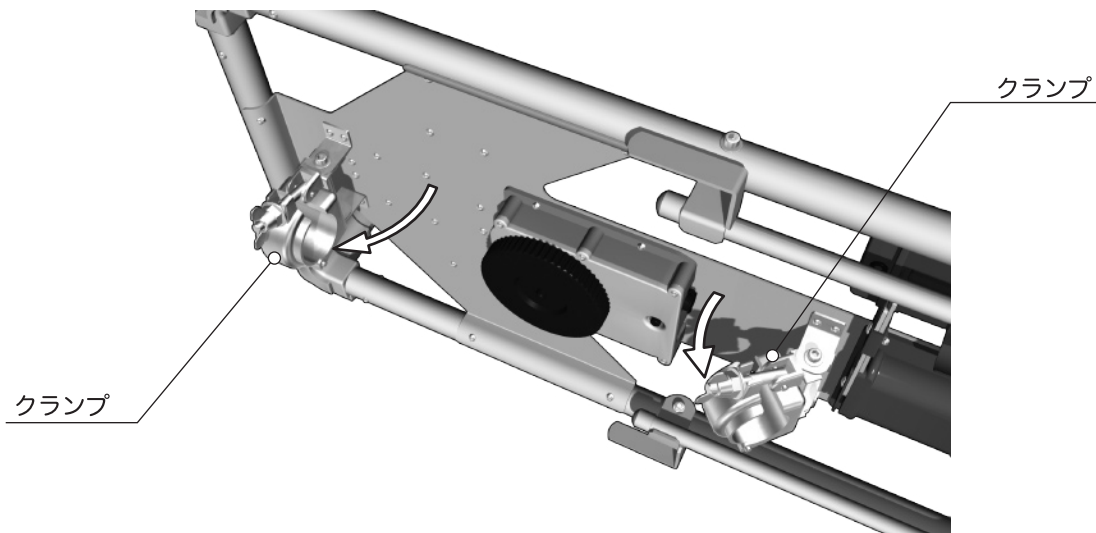


- ・長期保管の場合は、必ず乾電池を抜いてください。
- ・電源ボタンは押すごとに『点滅』→『OFF』→『流動』→『OFF』の動作を繰り返します。

使用前の準備（続き）

3. クランプを起こす

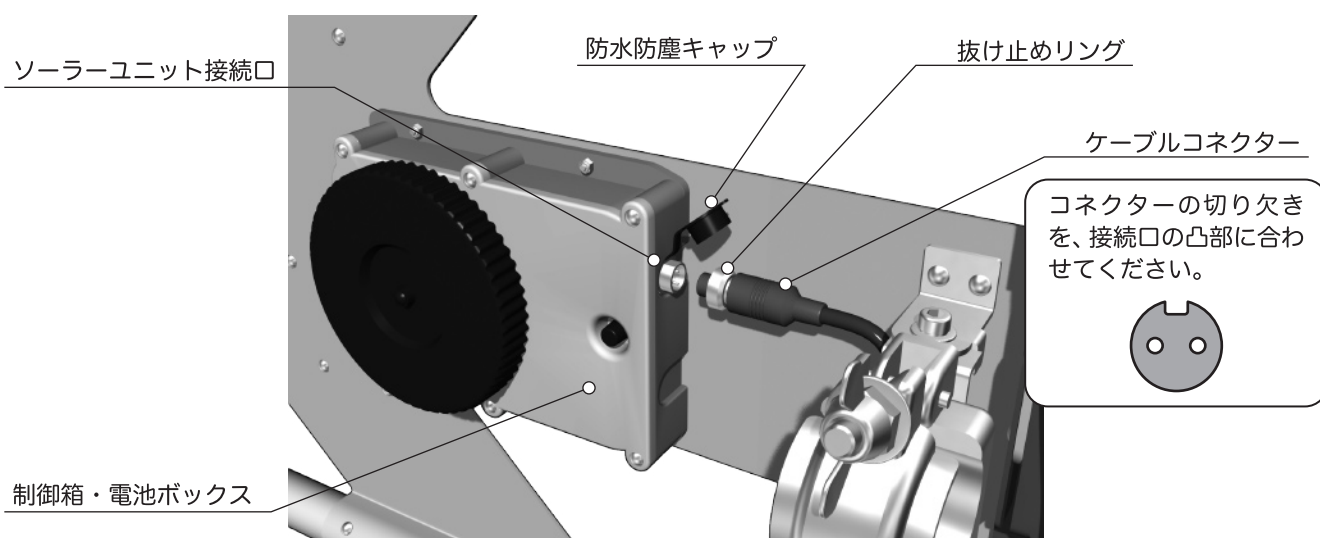
下図のようにクランプを起こします。



4. ケーブルの接続

制御箱・電池ボックスの防水防塵キャップを外し、ソーラーユニット接続口に、ソーラーユニットから出ているケーブルをつなげます。

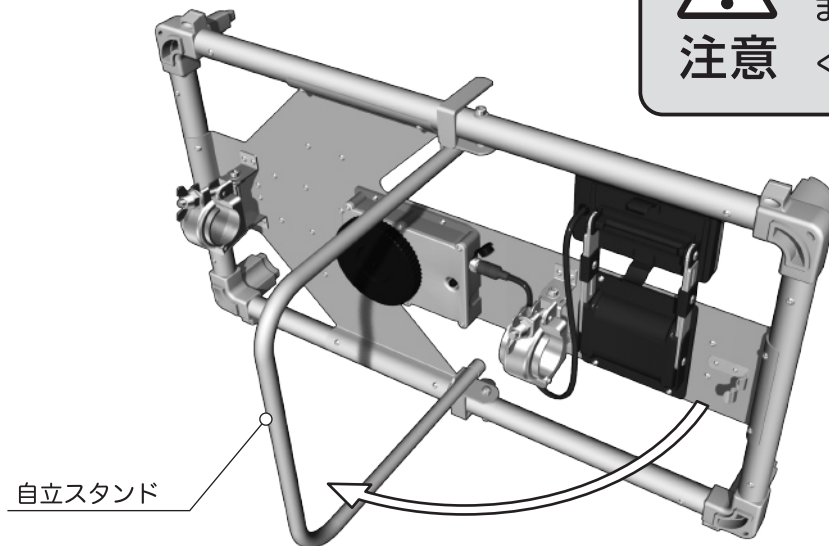
コネクターの抜け止めリングを回し、固定します。



“ソーラーユニット接続口”に、異物などが入らないように注意してください。また、ケーブルを外した際は“防水防塵キャップ”を確実にはめてください。異物などの付着により接触不良の原因となります。

5. 自立スタンドの展開

下図のようにスタンドを展開します。

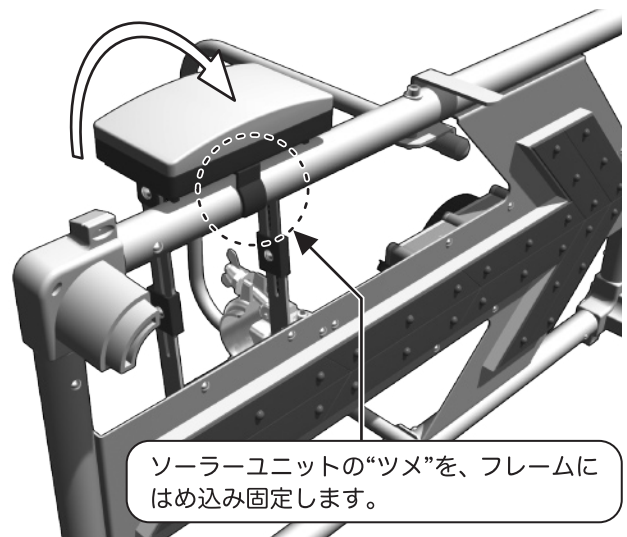
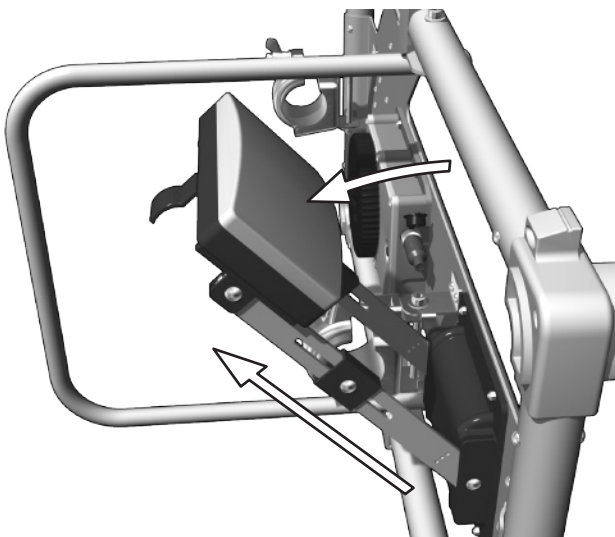


注意

可動部分で、指をはさまないように注意してください。

6. ソーラーユニットの移動

ソーラーユニットの“受光部が上”に来るように移動します。

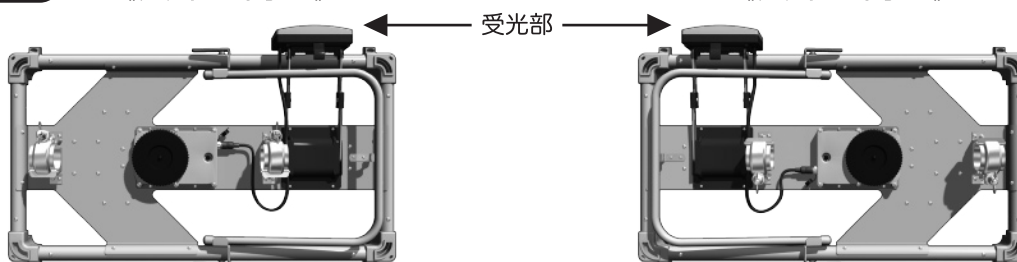


ソーラーユニットの“ツメ”を、フレームにはめ込み固定します。

規制方向

《矢印右向き》

《矢印左向き》



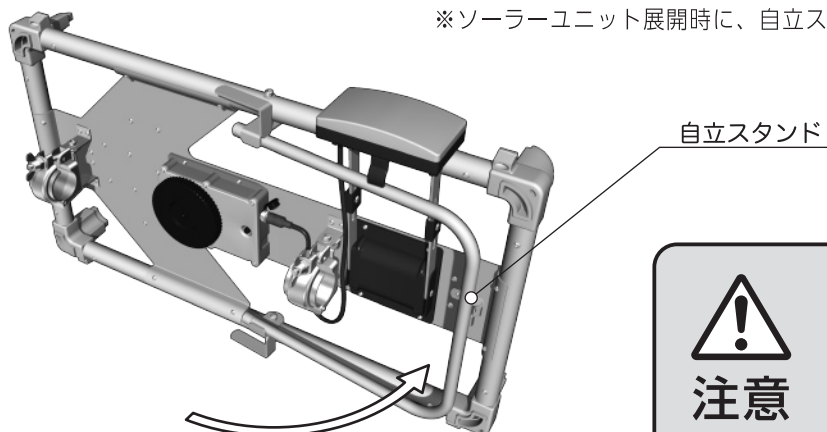
規制方向により、ソーラーユニット受光部が、必ず上になるようにセットしてください。

車両停止装置（規制の相棒）へ取付け

1. 自立スタンドを倒す

スタンドを下図のように倒します。

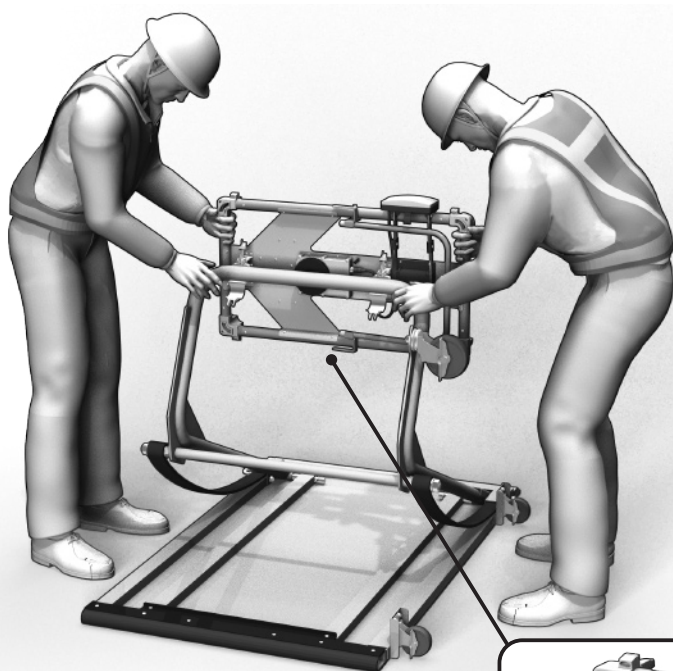
※ソーラーユニット展開時に、自立スタンドは完全に収納できません。



可動部分で、指をはさまないように注意してください。

2. ストップバーにクランプ

『規制の相棒』のストップバーへ、クランプにて取付けます。



落下による怪我や破損を防ぐため、2人以上で作業してください。

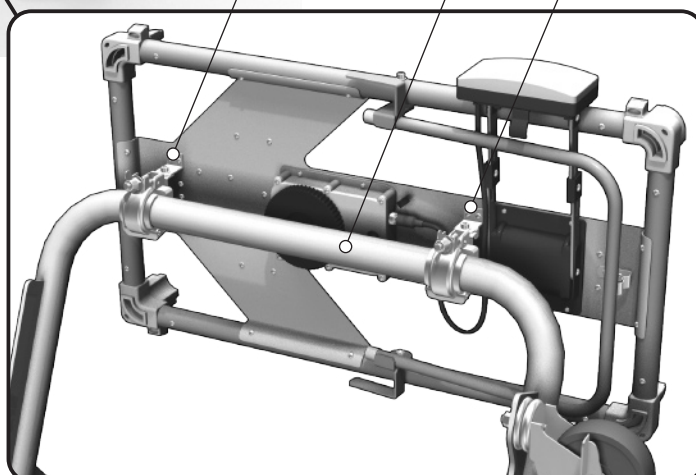
クランプ

ストップバー

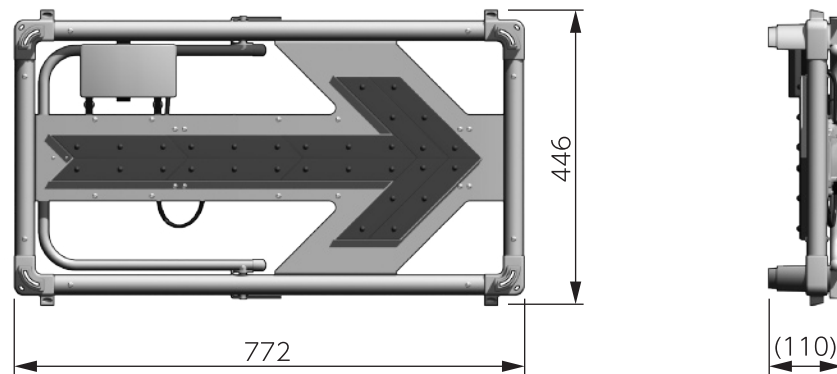
クランプ



クランプの蝶ネジを締めて確実に固定されているか、ガタが生じていないかを必ず確認してください。異常がある場合は、ご使用をおやめください。



仕 様



名 称	L E D 矢印看板 (車両停止装置付加品)
使 用 材 料	アルミニウム・鉄鋼・プラスチック
重 量	6.17Kg
ソーラーパネル	多結晶シリコンソーラーパネル (1 枚)
バ ッ テ リ ー	ニッケル水素電池 (3 本) ・ 単一乾電池 (2 本)
点 灯 時 間	約 45 時間 (ニッケル水素電池) ・ 約 45 時間 (乾電池) トータル約 90 時間
点 灯 方 式	点滅 (60 回 / 分) ・ 流動 (37 回 / 分)
光電センサー	環境照度 < 90 L U X
L E D 素 子	実装数 : 30 個 (赤) 輝度 : 20000mcd

※ 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

免責事項

お客様が本製品を使用するにあたり、下記に該当する事項を含め、いかなる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

- ・ 正規以外の部品を使用した修理および、お客様自身による修理または改造
- ・ 構成部品が破損、変形、腐食、摩耗、欠落、欠損している状態での本製品の使用
- ・ 取扱説明書に記載されていない方法での使用

OTC 株式会社 近江テック

〒522-0033 滋賀県彦根市芹川町380番地

TEL: 0749-22-5850 FAX: 0749-22-5860

<https://ohmijikou.jp>